

～学び続ける教職員を目指して～

★6年生「外国語科」の授業より



外国語科の授業を見せていただきました。今回は、「宝物を紹介しよう」をめあてにし、宝物を友達に紹介する活動をメインに行っていました。



「Sounds and Letters」の活動で「K」の頭文字の言葉を覚えるために「BONGO」というゲームを取り入れていました。ただ、頭文字を確認し、書くだけで終わるのではなく、活動を入れることで子どもが楽しそうに取り組む姿が印象的でした。説明役は担任、発音はALTなど役割分担もばっちりです。スムーズに授業が進んでいきました。担任の説明も「class room English」を活用し、会話の中でナチュラルに英語を使っておられるのが素晴らしかったです。子どもの理解に応じて、日本語と外国語の使い分けも見事でした。



メインの「宝物を紹介する」活動。それぞれの先生が宝物を見せて、説明・紹介していました。実物を見て、子どもからも「すごい」との声が多くあがっていました。児童の興味・関心を引く工夫が垣間見えました。

児童が宝物を紹介する際には、ただ、伝え合うだけでなく、「トレジャーハント」のお楽しみ要素を取り入れていました。「かたいもの」や「大きいもの」など種類ごとにメモできるようなワークシートがつくられており、友達の宝物を尋ねるなどアクティブに活動できるよう工夫されていました。

